

第1回検討会、第1回ワーキングの振り返りと  
いただいたご意見について

## ■ 第1回検討会の振り返り

- 以下の内容について、議論を行った。

議題	内容
2027年国際園芸博覧会について	国際園芸博覧会の概要 2027年国際園芸博覧会の概要
アクセシビリティ・ガイドラインの策定について	アクセシビリティ・ガイドライン検討会の概要 <ul style="list-style-type: none"><li>・趣旨</li><li>・スケジュール</li><li>・各検討会での実施内容</li></ul> アクセシビリティ・ガイドラインの考え方 <ul style="list-style-type: none"><li>・ガイドライン策定の目的</li><li>・検討方針</li><li>・適用範囲、対象範囲</li><li>・運用の考え方</li><li>・基準設定</li></ul> ガイドラインの目次構成（イメージ案）

## ■ 第1回ワーキングの振り返り

- 以下の内容について、議論を行った。

議題	内容
移動・誘導	<ul style="list-style-type: none"><li>① 車いすやベビーカーの会場内動線のアクセス性（同一ルート・舗装等）や利便機能について</li><li>② シャトルバスや福祉タクシー、駐車場等の交通アクセスの充実について</li><li>③ 視覚障害者誘導用ブロックの敷設方法や点字案内、音声案内、人的支援について</li><li>④ 必要なトイレの機能や数、アメニティ機能の配置について</li></ul>
展示の楽しみ方	<ul style="list-style-type: none"><li>① 車いすやベビーカーでの展示やレストランにおけるアクセス性や鑑賞しやすさについて</li><li>② イベント時における客席の設置方法や見やすさについて</li><li>③ 花のにおいや緑の感触などあらゆる形で体験できる展示を楽しむために必要な整備の内容について</li></ul>
コミュニケーション (心のバリアフリーを含む)	<ul style="list-style-type: none"><li>① サービス提供の合理的配慮やスタッフ研修について</li><li>② 音声情報の見える化や手話など多様なコミュニケーション手段の確保について</li><li>③ 誰にとってもわかりやすい情報提供方法について</li></ul>

- 第1回検討会、第1回ワーキングでいただいた主な意見を以下に示す。

## ■ ガイドライン全般に関して

第2回WGにてご議論

### 【意見概要】

- **横浜市の都市公園となることを見据えたユニバーサルデザインを進めてほしい。**
- 大阪・関西万博から**さらに進展したガイドライン**になることを示してほしい。
- 神奈川県や横浜市の福祉のまちづくり条例もあるので参考にするべき。

## ■ 基準設定に関して

今回ご議論事項

- 「望ましい」基準は配慮されない可能性が高く、整備水準の向上につながらないので、基準を一本化できないか。
- 標準基準と推奨基準の順序を入れ替え、**推奨基準を基本水準として**、それができない場合でも**最低基準を満たす**ように、という言い方にできないか。

## ■会場内全体ールートに関して

第2回WGにてご議論

- ・ 障がい者（車いす使用者）と健常者の移動ルートを分けず、来場者が利用できる範囲には車椅子で行けない場所を作らないことを大原則としてほしい。出展者の表現や演出上の設計だとしても例外ではないという意識を持ってほしい。

## ■会場内全体ー視覚障がい者誘導に関して

第2回WGにてご議論

- ・ 視覚障がい者がルートを外れて業務用の道路に入って接触事故が起こることのないようにしてほしい。
- ・ 誘導用ブロックは、基準に基づいて整備し、視認性を考慮した色の差が分かるデザインにしてほしい。
- ・ 3つのゾーン、5つのVillage内の移動の際、歩道には点字ブロック（視覚障害者誘導用ブロックJIS規格）を敷設して下さい。
- ・ 会場の各施設内の移動について、①点字ブロックには目的地まで安全に誘導するナビゲーションシステムを導入して下さい。

## ■会場内全体ーベビーカー使用に関して

第2回WGにてご議論

- スタッフの目が届く場所に**ベビーカー置き場**を確保してほしい。
- 体験型イベント等に参加する際やステージで観覧する際にベビーカーを置くことになるため、キッズビレッジ付近だけでなく、**建物の前や観覧ステージ付近などにもベビーカー置き場**の設置を検討してほしい。

## ■トイレ数や密度に関して

今回ご議論事項

- トイレの**数・密度は十分に確保**してほしい。
- **多機能トイレを複数設置**し、機能分散化に配慮してほしい。**汚物流しやベッドの配置**も含めて十分なスペースを確保してほしい。

## ■ベビーケアルームに関して

第2回WGにてご議論

- **ベビーケアルームを複数**設けてほしい。
- **授乳室は安全が確保**されるよう配慮をお願いします。(施錠できる個室)
- おむつ交換台は**車椅子ユーザーでも使える**ように、幅が広く高さが低めの台を設置してほしい。

## ■展示スペースー座席に関して

第2回WGにてご議論

- 催事を行う広場やホール等には**車椅子使用者用スペース**を確保してほしい。
- イベント会場の**車椅子席は複数用意**し、エリアも1箇所だけでなく**複数箇所から選べる**ようにしていただきたい。
- 同伴者席は**車椅子の本人の横**に座れるようにしていただきたい。
- 必要に応じて**イスなしの子どもスペース(乳幼児向け)**があると良い。

## ■展示内容に関して

第2回WGにてご議論

- 視覚障がい者向けに、**展示物の説明書き**や**触れる展示物**を提供し、体験型の展示を増やしてほしい。
- 視覚障がい者が楽しめるように、**香りのある植物**を配置するエリアや、**触れて楽しめる植物**の展示を設けてほしい。
- 参加型イベントや展示プログラムでは、**すべての来場者が楽しめる内容**を検討し、障がい者や高齢者にも配慮してほしい。

## ■ スタッフ研修に関して

第2回WGにてご議論

- 車椅子やヘルパー等ではなく、**本人に直接話しかける**よう、スタッフの教育を行ってほしい。
- **知的障がい・発達障がいの来訪者も想定**したスタッフ研修、ボランティア研修をしてほしい。
- **視覚障がい者が一人で参加する際、案内や支援**が提供されるように、スタッフ研修を実施してほしい。
- スタッフやボランティアには、**合理的配慮や障がい特性に応じた対応**を学ぶ研修を徹底し、**一人一人に合わせたサポート**ができるようにしてほしい。
- **出展企業、公共交通機関、ホテル等の関係者**にも研修を受けてほしい。

## ■ 優先入場に関して

第2回WGにてご議論

- 各種会場への障がい者等の**優先入場**に配慮してほしい。
- 会場入口での**障がい特性（待つことが難しい障がいのある方への配慮も含め）**に配慮した案内、誘導を検討していただきたい。
- **混雑状況がわかる掲示やスクリーン**などがあるとありがたい。(子どもと待つことが難しかったり、昼寝の時間などを考える必要があったりするため)



## ■案内－聴覚がい患者への情報提供に関して

第2回WGにてご議論

- 音声案内の見える化や手話、筆談、音声を文字化するシステム等、多様なコミュニケーション手段を確保してほしい。
- 災害時など不測の事態に備え、聴覚障がい者への配慮として、視覚的な案内やサインを活用し、混乱を避けるための準備を行ってほしい。
- デジタルサイネージやタブレットなど、ICTを活用した視覚的支援ツールを導入し、リアルタイムでの案内の可能性がある。

## ■公表資料・ウェブサイトに関して

第2回WGにてご議論

- 動画などは字幕を大きな字で表記してほしい。
- 英語にはフリガナをふってほしい。
- 知的障がいなどでもわかりやすい平易な言葉やフリガナ付きで作られたWEBサイトを用意してほしい。
- パンフレット等は、点字や大きな文字、視覚的なアイコンを活用し、すべての来場者にとってわかりやすいものにしてほしい。
- ウェブサイトの配色や字のサイズ、音声読み上げ機能などの配慮を行い、事前に十分な情報提供を行ってほしい。
- パンフレットの点字化を検討してほしい。

## ■会場外アクセスーバスに関して

第2回WGにてご議論

- 各駅からのシャトルバスは、**ノンステップ**で、**大型の電動車椅子でも複数台乗車可能な仕様**としてほしい。
- シャトルバスには**ベビーカーがそのまま乗れる**スペースは設置されるでしょうか。**安全用のベルトの数**など、必要なものを十分に設置していただきたい。
- バス会社によって表示の仕方が異なるが、シャトルバスの表示は**見やすく統一されたもの**にしてほしい。当然、**音声案内**をつけてほしい。

